

# Sharing Nature Life

シェアリングネイチャーライフ

2015  
VOL

9



ゆ く さ き

## 坂の行先

古地図散歩で  
川巡り谷巡り

<http://www.naturegame.or.jp/>



自然に寄りそう 未来につなぐ  
公益社団法人  
日本シェアリングネイチャー協会



スポーツ振興くじ助成事業



【特集】  
「坂」の行先…古地図散歩で川巡り谷巡り

古地図散歩で  
川巡り谷巡り

# 街並の向うに

# 緑風が吹く

「坂に名前があるのは、世界でも日本だけなんです。外国では、道や丘には名前がつけられますが、道が傾斜するところにわざわざ名前をつける例はほとんどないんですよ」  
そう話すのは、NHK『美の壺』やテレビ朝日『タモリ倶楽部』などでお茶の間でも知られる、古地図・地誌研究家の

芳賀ひらく氏。じつは、シェアリングネイチャー活動の礎となったジョセフ・コーネル著『ネイチャーゲーム1』を日本で出版する際に、多大な尽力をいたしていた柏書房元代表取締役であり、自然にも造詣の深い方なのです。  
その芳賀さんと街を歩いて聞いた「他の国の方が坂に名前を付けない」という

富士見坂、桜坂、いろは坂、男坂、女坂…。日本には大小さまざま、いろいろな名前が付けられた坂が点在する。平坦に見える首都・東京にも、坂はじつに多い。それは、水によって削られた地形の上でできた街だから…。今は見えなくなった、その水の跡を古地図を見てたどると大地のうねりが、川のせせらぎが、聴こえてきます。



地形の案内人  
【地誌研究家】  
芳賀ひらくさん

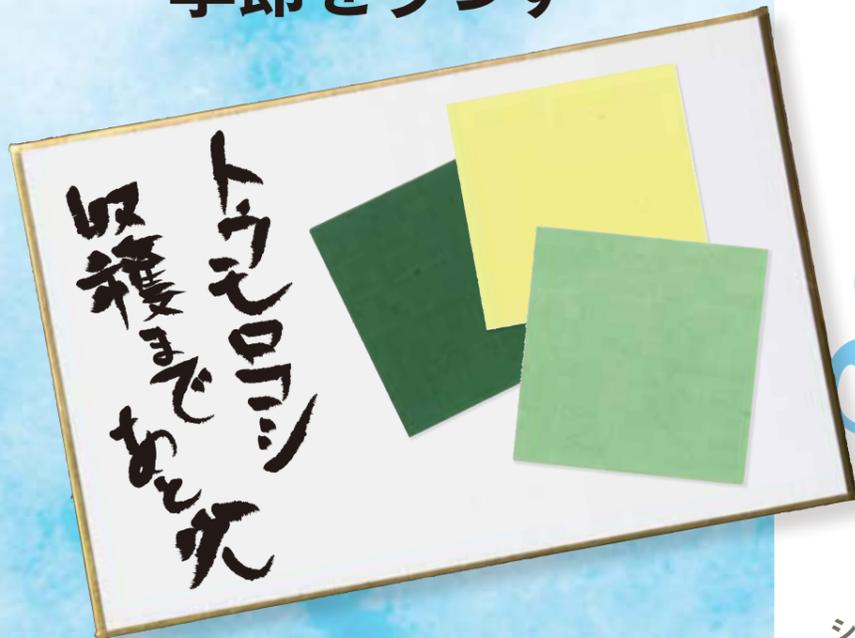
江戸・東京の古地図・地誌の研究家。東京経済大学客員教授。日本地図学会評議員。『ネイチャーゲーム1』初版出版元・柏書房元代表取締役。当協会名誉会員。

インタビュー／編集部・伊東久枝  
文／伊東久枝

自然をまるかじり

No.9

## 我流「かさね色」で 季節をうつす



平安の配彩美といわれる「襲色目」は季節をあらわす色の組み合わせを着物の表と裏で楽しむ日本の文化。

これをアレンジした  
ネイチャーゲーム〈自然あそび〉がある。

散歩道や近くの公園で  
心に響く色を2~3色選ぶ。  
色紙を小さく切ってカードに貼り  
その「かさね色」に名前をつける。

デジタルカメラで簡単に  
気に入ったシーンを撮れる時代。  
あえて、先人たちの手法を借りて  
日常の美しい自然を  
アナログで残すのも悪くない。

「シェアリングネイチャー」  
それは、人が自然を尊重し  
共生していく社会のキーワード。  
公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会は  
「自然と遊び、自然から学ぶよろこびにあふれた生活」  
—をおくる人の輪を広げる活動を行っています。



シェアリングネイチャーライフ

2015 9 6月号  
VOL. 9 夏

contents

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 自然をまるかじり                    | 2  |
| 特集 ●「坂」の行先                  | 3  |
| イベントレポート                    | 7  |
| 被災地復興支援情報                   | 7  |
| News                        | 7  |
| 自然が先生! ●世界屈指のデザイナーは誰だ!      | 8  |
| ネイチャーゲームで体験しよう! 〈フィールドパターン〉 | 8  |
| SNLな仲間たち ●石垣島…内藤 明さん        | 10 |
| プレゼント                       | 10 |
| ジョセフ・コーネルの課外授業 ●あなたの自画像は?   | 11 |
| 四角友里 ●なんにもしないアウトドア          | 12 |

### 編集後記

来年は、日本に「シェアリングネイチャー」が紹介されて30周年。今から、いろいろな企画を検討中。偶然にも、先日、30年ほど前まで住んでいた街を訪れた。中高生だったときに友だちと遊んでいた空き地はマンションに、駄菓子屋は大きなスーパーに変わるなか、道や神社、何軒かの同級生のお宅は「昔のまま」そこに存在していた。神社の巨樹を見上げながら、昔より小さく感じる鳥居をくぐると、凜とした懐かしい空気が出迎えてくれた。(佐々木)

話。同行したみんなが、ちよつと不思議だと首を傾げます。富士山が見える坂で、桜並木の坂で、景色を眺めひと思つき…。そこに名前を付けようと思うのが自然なことのように思うそれは、日本人ならではの感性なのでしょう。それとも、途中でひと休みしたいような坂が多いということなのか…。

### 街に隠れた

### 「崖」と「川」を探そう

小さな路地を曲がると、右手に急坂が現れます。坂の下には交差をする大通り。

「あそこは昔『紅葉川』という名前の川が流れていたところですよ」

古地図を見ながら芳賀さんが教えてくださいました。

いつもは何気なく通っていた坂道。ちよつときついなあ…と思う住宅街のなかの坂道。でもそこが川辺に続いていた坂だと知ると、不思議に「坂」を見る目が変わります。

人の暮らしに欠くことができない、水。洗濯、炊事、飲料水…。その水を得るため、水辺に降りる崖を人は下り、細い踏み跡にいつしか階段ができ、川船で運

ばれてきた荷を運ぶために道幅を広げ、傾斜の緩やかな坂をつくり…。それが、水道が普及し、物流が船から車へと移り、生活のために水辺に降りる必要がなくなった今も、坂道として残っているのです。

多くの川が地下に潜り、地上部が道路や公園に変わった都市部でも、気をつけて歩くと川や谷の面影がここに見られます。昔、そこには小魚が泳ぎ、ホタルが乱舞し、カワセミが飛翔する小川があり、人びとは川筋をわたる風に吹かれ、せせらぎの音を聴いて暮らしていたのでしょうか。

「旧街道、つまり昔の幹線道路はほとんどが尾根道です。遠くに旅をするとき、人は高低差が少なく、見通しがよくて安全な尾根を歩いたのでしょう。その幹線道路に交差するようにつくられた道は谷に下る道ですので、坂道となります。江戸でも坂の下には川が流れ、そこには多くの場合、田園が広がっていました」

芳賀さんがいうように、新宿でも青梅街道や甲州街道に交差する道をたどると、確かに左右に下る坂道が見られます。そして、その道の周辺には、今は家と家の間のコンクリートに固められた段差だったり、道路や線路の片側の壁面となり気づきにくかったりするのですが、急な段差が一定距離に渡って連なる「崖」が見つかることも少な

### 日本列島をつくったのは隆起と火山噴火?!

日本列島は、4つのプレートが会おう世界に類を見ない特異な場所にあります。そのため山は今も隆起を続け、火

くありません。

この坂は川に降りる小道で、あの道は川で、この壁は川岸の崖で、ここは谷底…。そんな発見をしながら街を歩くと、コンクリートとアスファルトで固められた場所の向うに、岩陰からしみ出す湧き水が、湿地に足をとられる感触が、岸を削って流れる濁流が、水辺に繁る草木をぬって吹く風の匂いまでが感じられる気がしてきます。

### 古の人も歩いた谷、過ぎし日の沢音が聴こえる。

### 古地図探検家図



多摩川上流から江戸市中に水を運んでいた『玉川上水』を復元。



山も多く、地震も頻繁に起こります。細長い列島に急峻な山がそびえているため、川は急流となり、しばしば土砂災害にも見舞われるのです。「けれど、そうして火山が地下からもたらす養分が川を伝って運ばれ、その土砂が堆積して平野を形成し、海を渡ってきた湿潤な大気が急峻な山に当たって多くの雨を降らせるからこそ、日本は緑豊かな自然に恵まれ、豊潤な大地で農業も営まれてきたのです」と芳賀さんはいいます。

「6900年前、縄文時代に訪れた温暖期、海面は今より3m高く、東京湾は今よりもずっと大きかったといわれています。そして海に接する場所では陸地は波にどんどん削られ、縄文時代の中期には、今の三河島周辺だった東京湾の水辺は、温暖期の終わりに赤羽付近まで後退し、高い崖となりました。この崖は、今も赤羽から上野にかけて約10kmに連なる『日暮里崖線』として残っています」と芳賀さん。



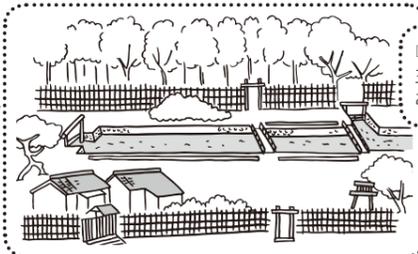
住宅街に突如現れた階段。両側には10m近い崖が…。



緩やかに上る大通り。ここって谷底だよ



昔の幹線道路は尾根道。参勤交代の行列が通った道だ!



「四谷大木戸」には玉川上水の水番屋があった。



今でも井戸水が出る!

水門の跡?



ここで野菜を洗っていたかも



玉川上水の余剰水を渋谷川に流していた水路跡には、昔の階段!



急坂になっている水路わきには工場もあった。



土地と縁の深い神社には、悲しい駿馬の物語が…。



まったけだけ土地がもたらさる

地形を読んで歩くと、本来の自然が土地の歴史が見えてきます。

京浜東北線の車窓から見える線路沿いのコンクリート壁は、縄文時代に海が削った崖。その後の鉄道線路幅員工事で削られ表面をコンクリートで固められたものの、「地形」はほぼ自然の営みがつくったものなのです。

じつはこのような崖は各地に見られるそうです。緩やかなカーブを描いて走る坂道の左右に段差がある場所は、崖を切り通した道であることも多いのだと。

### 都市部から姿を消した「小川」

都市化が進むにつれ、地方でも姿を消す川が多くなっています。

「日本の大都市のほとんどは、川が運んだ泥と砂でできた平地や山間に広がっています。そしてその平地や谷底の多くは、かつては田んぼとして利用されていた場所です。」

それらの田んぼが時代の流れとともに住宅地に姿を変えると、川は多くの側溝となり枝分かれして住宅地を流れ、さら

には地下に埋められ、現在では川跡は道や公園に姿を変えました」

芳賀さんによると、坂の下やうねって走る道は川跡のことが多いのだそうです。そして、主要道に鋭利な角度で交差している道も川跡のことが多いのだとか。

「山越え谷越えのまつすぐな道をつくるのは、中央集権国家だけです。お金も技術もないと建設も維持もできませんから。自然にできる道は、縦走道の尾根道と、海沿いの道、川沿いの道、そして川に下る小道。昔の道はこのいずれかで、自然の地形に沿っているのです」



新宿御苑の脇に続く、玉川上水の余剰水を流した水路跡（渋谷川）。小川は消えても、人びとの面影は今も残る。

「ぶき」にあると思う」という芳賀さん。そして、そのアウェアネスはジョセフ・コーネルに学んだことだといっています。

想像の世界への入り口。今はコンクリートで固められた崖の下に咲いたタンポポは、昔なら小川のせせらぎの聴こえる岸辺に咲いていたのではない

か…。ビルに囲まれた谷底の道は、左右の丘に雑木林が続いていたのではないか…。人の暮らしがもつと自然と近かった時代。その暮らしに思いを馳せながら、今の暮らしの在り方をもう一度考えてみるのもいいかもしれませ

ん。アウェアネスの街歩きで「芳賀さんお勧め」は川に下る生活道、小道を歩



『古地図で読み解く 江戸東京地形の謎』寛永、明暦、安政、明治、大正、昭和…それぞれの時代の地図を読み解くことで、東京の歴史と自然を解説しています。芳賀ひらく著1,800円＋税/二見書房

「江戸東京地形の謎」プレゼント  
読者アンケートに答えていただいた方の中から抽選でプレゼントいたします。詳しくは、本誌P.10をご覧ください。

## Report

### 川原の石のセミナー

2015/3/28 初持雅信(群馬県)



私の住んでいる群馬県は、海なし県。遊びのフィールドは森か川。特に、群馬の夏は川遊びです。私は南牧村で自然学校を行っており、そのプログラムにもぜひ使いたいと思いついてこのセミナーへの参加を決めました。

棚橋先生の「石」の分類は、とても楽しく、「小さな石も地球の一部」と感じました。また、川原の石を使ったネイチャーゲーム「石の鑑定団」と「シグソーストーン」も、素直に楽しむことができました。ありがとうございました。今年の夏は一味違った体験ができそうです。今からワクワクです。



### ネイチャーゲーム大学 (全10回)

2014/4~2015/3 菊地豪(宮城県)



テーマや講師陣にひかれ、思い切って全回参加を決めました。各専門家の経験に満ちた講義は、最高に白熱した時間でした。第2回・能條先生の講義では、自然への畏敬の念をどう育むかというところから、自然の風景と人工物に共通する黄金比があるというお話がありました。建築関係の仕事をしてきた自分が学んできたこと、に改めて思いを巡らせる機会となりました。全10回で得た学びは、私の宝ものになりました。時間をかけて復習していきたいと思っています。



### 被災地復興支援情報



#### 大植「お茶つこ広場」へのボランティア参加を続けて

岩手県シニアリングネイチャー協会 浅沼洋子

「大植お茶つこ広場」は震災の年にスタートし、40回を重ねました。「来ましたヨ」「待ってたヨ」で始まる会は、全国の皆さんから届くお菓子や果物など多彩なお茶請けが並び、「イヤー、初めて見る」「あ、これ美味しいんだヨ」という驚嘆と、深い感謝に満たされます。そして、添えられたお手紙やメッセージを回し読みし、温かい思いやりへの感謝の言葉が交わされます。お茶つこの後は、お手玉・手遊び・折り紙・わらべ唄など、昔を思い出しながら手先と頭脳を働かせるエクササイズ、活き活きとした表情、うまくいっても不出来でも歓声があがります。仮設住まいは、さらに4年先まで延びそうな厳しい状況。乗り越える気力が委えないよう、引き続きご支援をよろしくお願ひ申し上げます。



### 全国銘菓 お茶つこ広場 開催中!

被災地の仮設住宅にお住まいの方々のコミュニティ支援を続けています。あなたの地元銘菓を被災地に送ってください。実施日 ●大植：6/21(日)、7/19(日)、9/13(日) ●雄勝：7/5(日) 詳しくは！ [http://www.naturegame.or.jp/about\\_us/action/ochakko/](http://www.naturegame.or.jp/about_us/action/ochakko/)

### シェアリングネイチャー奨励賞募集

ネイチャーゲーム指導員および組織の優れた活動や研究を奨励しています。さまざまな取り組みをご応募ください。(自薦・他薦は問いません) ●応募締切り：6月30日 ●応募方法：リーダーハンドブック理論編(第7版) P.123、またはホームページをご参照ください。 ●応募先：shoreisho@naturegame.or.jp

### 専門委員会報告

■シェアリングネイチャー普及委員会—2月18日(水) ◆シヨルダークピー決定報告 ◆ネイチャーゲームモデル園の認定・検討 ◆シェアリングネイチャーサイトの検討 ◆新感謝状制度の検討

■指導者養成委員会—3月9日(月) ◆指導員報の検討 ◆インストラクター認定講座カリキュラム検討 ◆リーダー養成講座の課程認定校合同開催の確認 ◆ワーキンググループの進捗確認 ◆インストラクター認定二次審査 ◆全国研究大会の企画検討 他

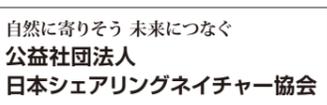
### 第10回全国一斉シェアリングネイチャーの日

毎年10月第3日曜日は「全国一斉シェアリングネイチャーの日」です。詳細は9月号で。 ●実施日：10月18日(日)

●テーマ：木を抱きしめよう 【注意】このテーマは日本協会が一般向けに提案するものです。地域のイベントのテーマは自由に設定してください。

### 団体のシヨルダークピー決定!

「団体が目指していること」をさまざまな角度から検討・検証しシヨルダークピーをつくりました。今後、団体名とセットで活用していきます。



### 新事業 ネイチャーゲームモデル園

より充実した自然体験を保育に取り入れている園を応援するトライアル事業が始まります。2015年度は下記4園にて試行し、ホームページなどで随時情報をお知らせします。 ◆認定こども園めぐたま(山形) ◆ねむの木保育園(東京) ◆早出幼稚園(静岡) ◆神理幼稚園(福岡)

### 新事業 シェアリングネイチャーサイト

ネイチャーゲームに適した場所や自然との一体感を感じるスポットなど…「シェアリングネイチャー」という視点で選んだ「地域おすすめ自然」を募集します。事業の概要や応募方法についてはホームページをご覧ください。

## News

### 2015年度助成金採択状況

下記の助成金が採択されました。 ◆スポーツ振興くじ助成事業 ◆広報ツール(広報誌・普及ツール) ◆ネイチャーゲームセミナー 50会場予定

### 2015年度永年会員表彰

会員を永年続けてこられた方を表彰させていただきます。2015年度は、10年継続会員394名、20年継続会員171名が誕生。該当する方には、6月に「記念バッジ」をお送りいたします。



### 実践事例・研究報告募集

会員の皆さまの実践事例や研究報告を募集しています。多くの仲間にとって貴重な資料となりますので、積極的にご応募ください。 ●応募締切り：6月30日 ●応募方法：リーダーハンドブック理論編(第7版) P.121、またはホームページをご参照ください。 ●応募先：jirei@naturegame.or.jp

# 世界屈指の デザイナーは誰だ！

水辺に野山に、生命があふれる季節。  
自然の形や色彩について目を奪われます。  
秀逸な芸術家も顔負けの  
そのデザインの意図は…。



村山哲哉（むらやま てつや）・監修  
文部科学省初等中等教育局教育課程理科教科調査官。理科教育の理念と効果的な学習手法の普及のために、年間170校以上の小学校を訪れ、教員へのアドバイスなどを行う。日本シェアリングネイチャー協会体験型環境教育研究会委員。

**専用の箸や  
匙を口につけ  
選り好み**

動物や植物の形や色彩を見ていると、どうしてこんな風になったのか、と思うものがあります。やり過ぎに見える種子のトゲや、どうみても大きすぎるキバやツノなど。  
けれど、生物のデザインの多くは生きていくために獲得した、機能性に基ついたもの。  
たとえば…。干潟に集まるトリたち

## 餌に合わせて くちばしを変えた？！

くちは、くちばしの形の違いで食べるものや捕食場所を変えて、共存を図っているといわれます。  
また、植物には、子孫繁栄のため種子を遠くへ運ぶ巧妙なしくみを備えているものがあります。動物にくっついて移動するため、先端がカギ状になったトゲを持つヌスビトハギやセンダングサの仲間。そして、風を利用して種子の拡散を図るカエデやタンポポなどは、プロペラやパラシュートのような羽根や綿毛を種子に装備しています。その構造は機械工学顔負けの完成度です。



アオサギ：  
浅瀬で魚を待ちぶせて、くちばしで突き刺して捕る。

ヘラサギ：  
浅瀬で首を横に振って、くちばしに当たった小魚などを食べる。

ダイチャクシギ：  
深い穴のなかにいるカニやゴカイを引っぱり出して食べる。

ハマシギ：  
少し深い泥のなかにすむゴカイなどを探して食べる。

キョウジョシギ：  
干潟の表面や石の下にいるカニや貝などを捕まえて食べる。

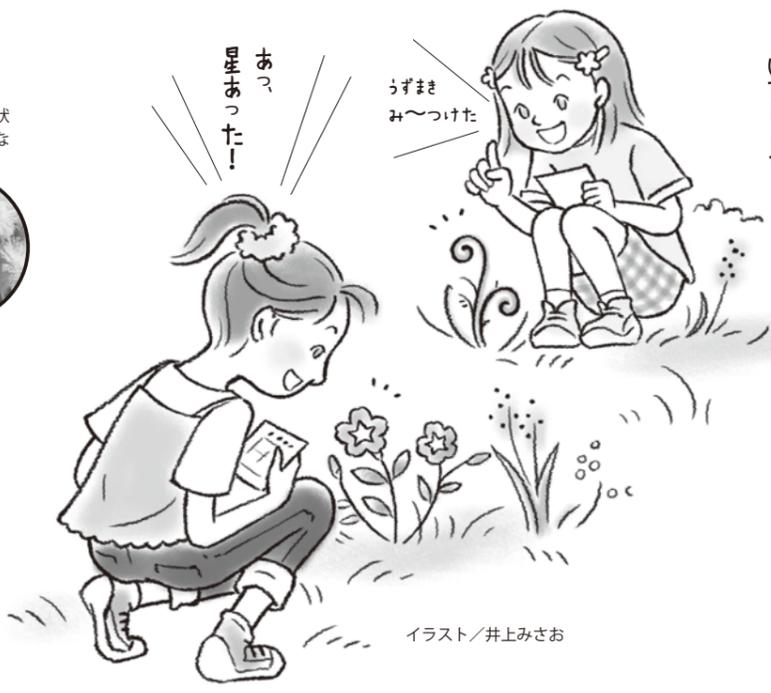
イラスト／井上みさお  
構成・文／伊東久枝

カタチに  
ときめく！  
Nature  
Game

## フィールドパターン

見上げた雲、真上から見た花の蕾、池に広がる水紋…自然界にはいろいろな「形」があふれています。「形」をきっかけに、身近な自然をじっくり観察するネイチャーゲーム「フィールドパターン」。しゃがんで下から見たり、上からのぞき込んだり、遠くの景色を見てみたり…視点を変えて自然をよ～く見ることで、意外な発見がぎゅとありますよ！

【楽しみ方】  
・いろいろな形を描いたカードを用意する。  
・カードに描かれた形を自然の中から探す。  
・集まって、それぞれが見つけた形を紹介し合う。  
※カードを準備せずに、探す形をその場で決めてもいいですよ。



イラスト／井上みさお

現に、人間が自然のデザインをヒントにつくった工業製品は、数多くあります。私たち人間の目には、意味がわからない独創的な形や色彩にも、それぞれの生物には大きな意義があるのかもしれない。そのデザインがどんな意味を持っているのか、そんな視点を持って自然を見てみると、きつとまた新たな発見が、自然との出会いがあるのでは。

## 工業デザイナーも 顔負け！



タンポポ：  
綿毛がパラシュートの役割をして、フワフワと風に乗って種子を運ぶ。

ここがカゲ  
カエデ：  
片翼のプロペラを持った種子は、クルクルと回転しながら、何百メートルも遠くに飛ぶことも。

ツノゴマ：  
「悪魔の爪」の別名を持つツノゴマの果実。鋭いツノで動物の毛に絡まったり、脚を挟んだりして移動する。

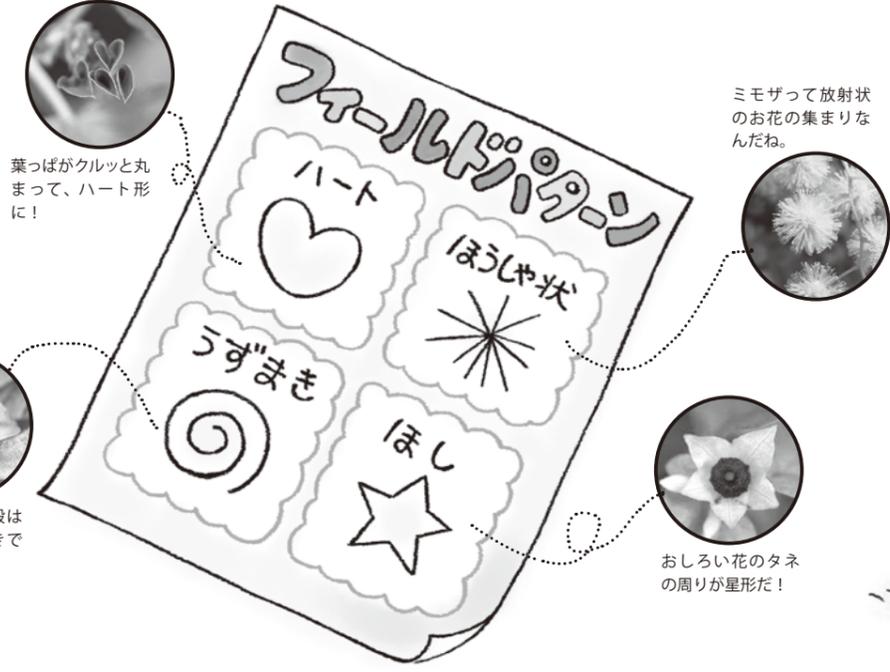
フウセンカズラ：  
ハートマークのかわいい種子。このデザインの意味は？？？

空気抵抗が小さく騒音が少ない山陽新幹線500系の先端部は、カワセミのくちばしがモデル。

## カワセミの くちばし？

## ネイチャーゲームとは

1979年に米国のナチュラリスト、ジョセフ・コーネルにより発表された活動です。見る・聞く・触る・かぐなどの感覚をつかって、自然を楽しむ、自然と仲良くなるためのプログラムです。



葉っぱがクルッと丸まって、ハート形に！

ミモザって放射状のお花の集まりなんだね。

カタツムリの殻はキレイな渦巻きでした～

おしろい花のタネの周りが星形だ！



雨に輝く  
森の表情を  
求めて

雨粒が自分の奥の水分と  
呼応していくようで、  
森と自分の「境目」が  
薄れてゆく



雨上がりの朝。  
蜘蛛の巣も  
自然の芸術なのだ、  
その美しさにハッとなる

# なんもしない アウトドア

「ようこそ、喜びの森へ」  
屋久島のガイドさんのひと言が  
雨を楽しむ魔法をかける。  
人間がびっくりするほどの雨も、森の日常。  
木々や土の表情が輝きをまわしていた。

耳をすませば、聞こえてくる森の声。  
「しとしと」「ぎーぎー」「ぼつぼつ」  
雨の降る音に、たくさんの表現をもつ日本語も  
雨が生む、豊かさのひとつかもしれない。  
ウエアに雨粒がパチパチと弾け  
薪のはぜる音にどこか似ていて心地いい。  
雨をあび、私の体の水分も  
この水に入れ替わってほしいと願った……。

雨で隠れた「景色」にかわり  
静かにうごめく存在の「気配」が満ちる。  
花は、水の粒子を身に纏い  
これまでは気付けなかった産毛を見せる。  
森にかかった白い霧が  
自然と私の境界線をあいまいにしてくれた。

……雨上がり。  
湧き上がる雲が、森の呼吸にみえる。  
それは、私たちの命を繋ぐ「空気」が作られていく  
厳かな瞬間に立ち会えたような、こ褒美だった。

## Yuri Yosumi profile

白百合女子大学卒。執筆、講演、ウエア開発を通し、「大自然と自分らしいスタイルでつながりたい」というメッセージを発信。山スカートの先駆者、着物着付け師としての顔ももつ。現在、フリーペーパー「山歩みち」などで連載中。著書に『デイリーアウトドア』他がある。

## My Book



『一歩ずつの山歩き入門』¥1,200+税  
女性の山歩きデビューから2泊3日の山小屋泊トレッキングまで、四角友里流のノウハウを全公開。

